

一般社団法人日本人間工学会第 20 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 25 年 4 月 23 日（火）15:30～18:20
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2F 524 会議室
3. 出席者：
 - ・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)
 - (理事)：青木和夫(理事長・学術・企画・ウェアラブルアクセシビリティ支援委員長)，酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長，企業の人間工学教育のあり方検討委員長)，大久保堯夫，大須賀美恵子(編集)，河合隆史(企画・IEA)，小谷賢太郎(国際)，酒井正幸，三林洋介(財務)，津久井一平，土屋和夫，徳田哲男，堀江良典(総務・第 54 回大会長)，松岡敏生，三宅晋司(財務)，矢口博之，吉武良治(人間工学専門家認定機構長) [16 名]
 - (理事兼支部長)：北村正晴(東北)，阿久津正大(関東・表彰)，斎藤真(東海)，森本一成(関西) [4 名] [計：20 名]
 - (欠席者)：榎原毅(広報)，大内啓子(総務)，芳賀繁(安全人間工学)，福田康明，横山真太郎(北海道)，村田厚生(中国・四国)，和田親宗(九州・沖縄)
 - ・監事：赤松幹之
 - ・アドバイザー：斉藤進(学術)，藤田祐志(IEA)，横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長)，鳥居塚崇(第 54 回大会事務局)
 - ・事務局：栗田紀子，西原彩

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、赤松幹之監事のほか、三林洋介財務理事が指名され承認された。

【審議事項】

- (1) 第 1 号議案 平成 24 年度事業報告、平成 25 年度事業計画について
堀江総務理事より、平成 25 年定時社員総会資料の平成 24 年度事業報告案と平成 25 年度事業計画案の説明があり、審議を経て承認された。
- (2) 第 2 号議案 平成 24 年度決算、平成 25 年度予算について
三林財務理事より、平成 25 年定時社員総会資料の平成 24 年度収支決算案と平成 25 年度収支予算案の説明、監査報告の後、青木理事長より平成 25 年度の活動計画について説明があり、審議を経て承認された。
- (3) 第 3 号議案 定款改正およびこれに伴う諸規程類の改訂について
 - ・堀江総務理事より、これまでの理事会での審議の結果および学会組織検討委員会からの答申を踏まえて作成した定款変更案、ならびに司法書士より指摘のあった箇所の変更案について説明があり、審議を経て、平成 25 年定時社員総会にて定款変更案を審議事項として提出することが承認された。
 - ・定時社員総会にて定款の変更が承認された場合は、それに伴い諸規程類（支部規程、委員会規程、代議員及び役員選挙規程、ISO/TC159 国内対策委員会規程）も形式を整え、定時社員

総会日付で改訂することが提案され、審議の上承認された。

- ・支部長に確認の上、支部規程別表の鳥取県は関西支部から中国・四国支部へ移動することが承認された。

(4) 第 4 号議案 著作権規程の改訂提案について

斉藤学術担当より、現行の著作権規程では著作権が本学会にいつから帰属するのかがはっきりしないため、明確にするための規程改訂案が提案され、審議を経て承認された。大須賀編集委員長より、今後編集委員会でも学術担当と連携し、投稿論文の著作権に関する見直し、整理を実施する予定であると説明があった。

(5) 第 5 号議案 不適切な掲載論文について

斉藤学術担当より、学会誌「人間工学」に掲載された二重投稿の疑いがある複数の論文に関して調査した結果の説明があり、該当論文を削除することとしそれに係る対応、ならびに研究奨励賞の授賞は取り消しとすることについて、審議の上、承認された。なお、これに付随して「行動規範ガイドライン分科会（仮称）」を設置することが承認された。

(6) 第 6 号議案 IEA 人間工学定義の日本語訳について

小谷国際協力委員長より、IEA 人間工学定義の日本語訳を試案作成した旨の報告があり、今後の利用については検討が必要であるとの説明があった。本件については審議事項とせず、日本語訳を公開する際には、IEA の定義であることを明記し、英文も併記することを確認した。

- ・藤田 IEA 担当より、IEA での人間工学定義の認識などについて説明があった。
- ・第一パラグラフについては学会 HP にすでに公開していることを確認した。

(7) 第 7 号議案 人間工学投稿規程の一部改定について

大須賀編集委員長より、別刷料に関する表記の改定について提案があり、承認された。

(8) 第 8 号議案 平成 25 年度日本人間工学会論文賞、研究奨励賞、人間工学 GP 賞の選定について

阿久津表彰委員長より、平成 25 年度日本人間工学会論文賞候補論文 1 編、研究奨励賞候補論文 2 編が提案され承認された。人間工学 GP 賞は選考結果が揃い次第メール審議を行う。第 54 回大会時の平成 25 年定時社員総会にて表彰する。

(9) 第 9 号議案 日韓シンポジウムにかかわる韓国側表彰者について

阿久津表彰委員長より、日韓シンポジウムにかかわる大韓人間工学会の表彰者について説明があり、審議の上、表彰することが承認された。第 54 回大会時の懇親会にて表彰する。

(10) 第 10 号議案 2013 年度委員会・担当等一覧について

青木理事長より、平成 25 年定時社員総会資料の 2013 年度の委員会・担当等一覧について説明があり承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 19 回理事会議事録

メール審議を経て第 19 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告 (3 月末)

2013 年 3 月末現在、会員数 1,613 名、賛助会員 33 社 34 口。

(2) 第 54 回大会準備状況について

鳥居塚事務局長より、特別講演 2 件、学会企画シンポジウム 1 件、一般企画シンポジウム 8 件、

一般講演 163 件、日韓共同シンポジウム 40 件、出展企業、協賛団体等について紹介があった。大会 HP にトラブルがありご迷惑をお掛けしたが、現在は回復し順調に準備が進んでいる旨報告があった。

(3) 第 55 回大会について

森本関西支部長より、第 55 回大会は川野常夫大会長、2014 年 6 月 5 日（木）～6 日（金）に神戸にて開催予定との説明があった。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 編集委員会

大須賀委員長より、クイック・レビュー制度に多数の申し込みがあったこと、Web 会議を実施したことの報告があった。論文採択数の推移の統計と、年間論文採択率と投稿件数の統計の訂正版が配布された。

(4-2) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、JENC 規程改訂、METI 担当者交代、人間工学 ISO/JIS 規格便覧、H25 年度活動費についての報告と、7 月より JES 事務局が JENC 事務局を担当する予定であると説明があった。

(4-3) 表彰委員会

阿久津委員長より、各賞について選考・表彰の準備中である旨報告があった。第 54 回大会時には、優秀研究発表奨励賞の第二次選考を実施する。

(4-4) 人間工学専門家認定機構

吉武機構長より、4 月 26 日（金）に開催する講演会・総会・交流会について説明があった。講演会は 70 名以上の参加申込があった。

(4-5) 安全人間工学委員会

青木理事長より、5 月 11 日（土）開催の安全人間工学研究部会第 16 回研究会について案内があった。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

(5-2) 東北支部

北村支部長より、3 月 23 日（土）に開催した支部研究会の報告があった。

(5-3) 関東支部

阿久津支部長より、3 月 27 日（金）に（独）海上技術安全研究所にて開催した見学会の報告があった。

(5-4) 東海支部

斎藤支部長より、5 月 18 日（土）に名城大学にて支部総会と講演会、11 月 2 日（土）に椋山女学園大学にて支部研究大会を開催するとの案内があった。

(5-5) 関西支部

森本支部長より、3 月 23 日（土）に開催した春季講演会の報告と、12 月 14 日（土）～15 日（日）に支部大会を京都工芸繊維大学にて開催するとの案内があった。

(5-6) 中国・四国支部

(5-7) 九州・沖縄支部

三宅理事より、平成 24 年度事業報告について説明があった。

(6) 協賛等の依頼

青木理事長より、8件の依頼について協賛をする旨報告があった。

(7) 産業安全保健ハンドブックについて

酒井副理事長より、産業安全保健ハンドブック刊行の紹介があった。

(7-1) 事務局員について（新規採用）

堀江総務理事より、6月1日より新規に職員（米倉氏）を雇用する旨報告があった。

(7-2) 今後の理事会日程について

5月31日（金）に第21回理事会を開催する。その後の理事会については、9月に第22回理事会、12月に第23回理事会、平成26年2月～3月に第24回理事会を開催予定。

5. 閉会

以上の議事を終え、18時20分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成25年4月23日

議 長 青 木 和 夫 ㊟

議事録署名人 三 林 洋 介 ㊟

議事録署名人 赤 松 幹 之 ㊟